

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 28日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 ｲｸｲｸｲｸ
 住 所 千葉県市川市高谷新町3番地
 氏 名 ガルバテックス株式会社
 代表取締役社長 金子 智弘
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 047-328-1171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ガルバテックス株式会社 高谷工場
事業場の所在地	千葉県市川市高谷新町3番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

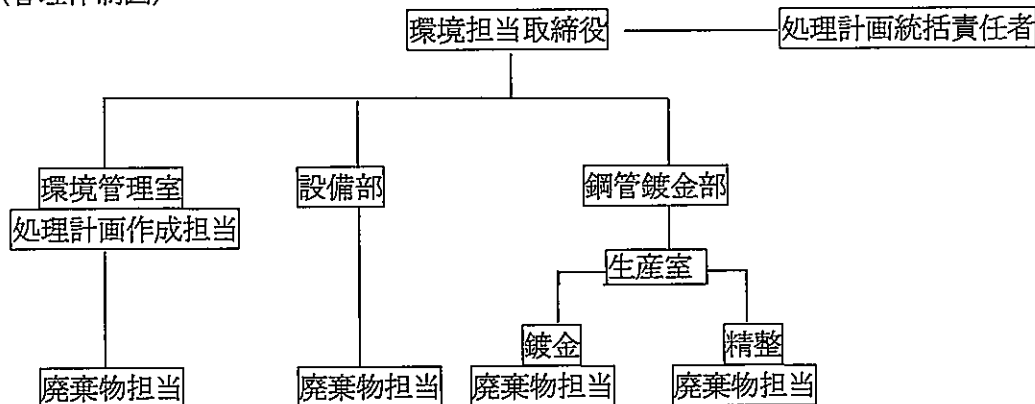
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：金属製品製造業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 18.68億円
③ 従業員数	172人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

(日本工業規格



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙2のとおり

① 現状	【前年度 (R4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	6,684.1 t	10.5 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥 (引き抜き汚泥) めっき前処理工程 (主目的は鉄錆の除去) での品質向上 (脱脂後の水洗水、及び酸洗後の水洗水を常時オーバーフローさせる事で油脂分、及び鉄塩の再付着を防止、水切りも30秒行う様に、看板に表示)、再加工の減少を図る事で廃水処理で発生する汚泥 (主成分は水酸化鉄) を少なくしている。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	6,700 t	11 t
	(今後実施する予定の取組) ・現在行っている取り組みの継続。 ・前年度と同じ生産計画なので、前年度の実績を目標とした。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ダンボール・雑誌・シュレッダーくずは分別収集して有価物。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現在行っている取り組みの継続。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 該当なし			
① 現状	【前年度 (R 4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度 (R 4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	5,949.5 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組) 脱水機の脱水フィルターの定期的洗浄		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	6,000 t	0.0 t
(今後実施する予定の取組) 脱水機の脱水フィルターの定期的洗浄の継続			

(第4面)

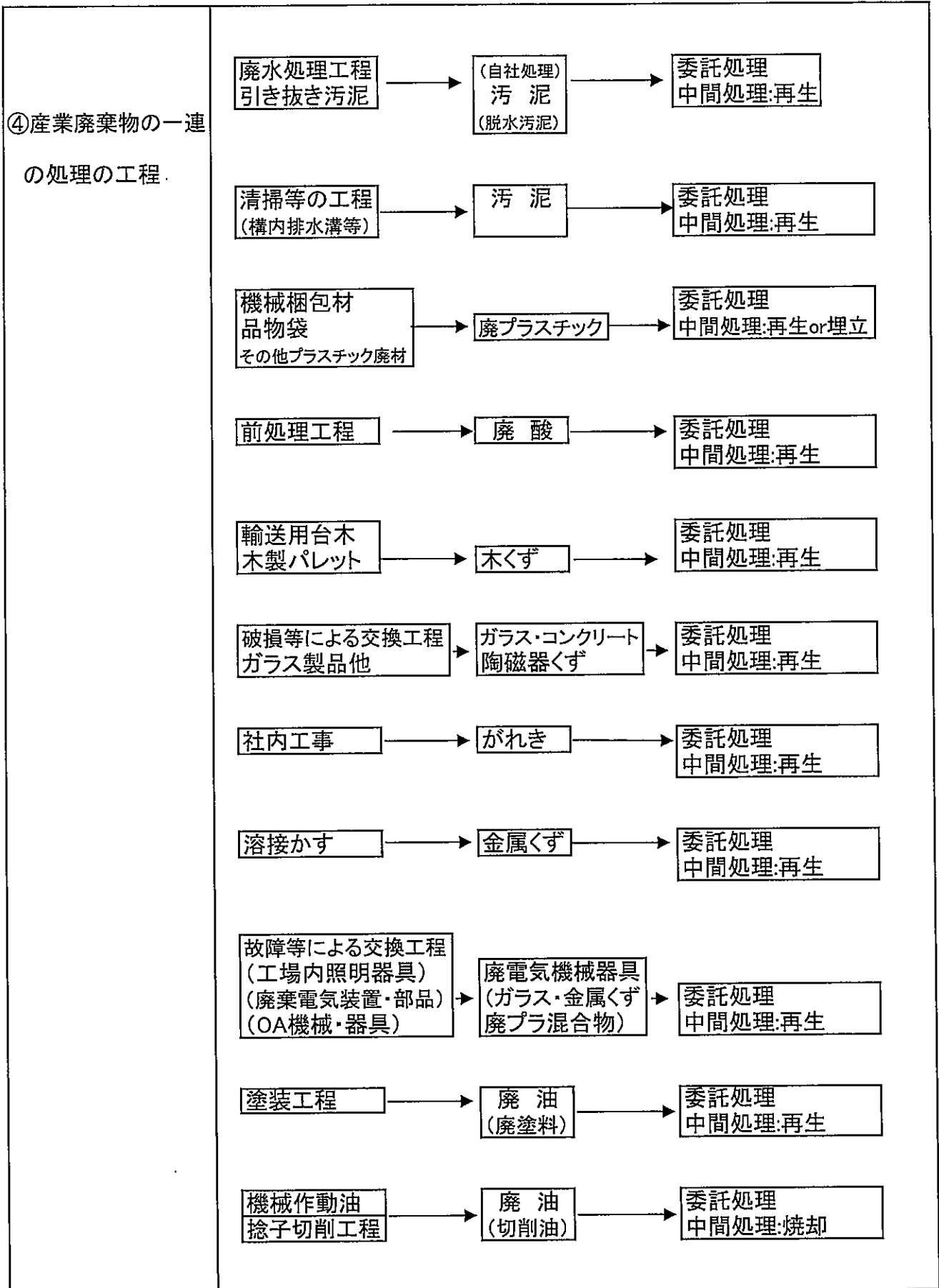
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		該当なし	
① 現状	【前年度 (R 4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で埋立処分または海洋投入処分を行ったことはない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙2のとおり	
① 現状	【前年度 (R 4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	731.9 t 724.6	10.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	731.9 t 724.6	10.5 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
(これまでに実施した取組) 汚泥 (脱水) 平成9年9月より、これまで再生土としていたが還元焙焼し製鉄原料として再資源化を図った。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	740.0 700.0 t	11.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	740.0 700.0 t	11.0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている取り組みの継続実施。 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
	① 現状	【前年度（R4年度）実績】				
		産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	廃油
		排出量	1.5t	1.0t	0.0t	1.3t
		(これまでに実施した取組) ・廃油を種類別に分別し、売却廃油と産廃廃油とに分けて、廃棄物発生量の削減を行った。				
	②計画	【目標】				
産業廃棄物の種類		木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	廃油	
排出量		5.0t	1.0t	0.0t	3.0t	
(今後実施する予定の取組) ・実施している取り組みの継続。 ・廃プラスチックの分別収集の徹底。						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（R4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ R 4 年度 ）実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ R 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ R 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	廃油
	全処理委託量	1.5t	1.0t	0.0t	1.3t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.5t	1.0t	0.0t	1.3t
	再生利用業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者への委託。				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	廃油
	全処理委託量	5.0t	1.0t	0.0t	3.0t
	優良認定処理業者への処理委託量	5.0t	1.0t	0.0t	3.0t
	再生利用業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	(今後実施する予定の取組) ・ 実施している取り組みの継続				

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
① 現状	【前年度（ R 4 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具 (ガラスくず、金属くず、廃プラの混合物)	がれき	廃アクリル
	排出量	4.2t	0.0t	11.4t
	(これまでに実施した取組) ・木くずは輸送用パレット、搬入業者に持ち戻すよう協力依頼を行っている。			
	【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具 (ガラスくず、金属くず、廃プラの混合物)	がれき	廃アクリル
	排出量	5.0t	5.0t	11.0t
	(今後実施する予定の取組) ・廃電気機械器具及びがれきの排出量が多くなっているのは、経年劣化による交換と社内工事によるがれきの発生。 ・現在行っている取り組みの継続。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ R 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具 (ガラスくず、金属くず、廃プラの混合物)	がれき	廃アクリル	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具 (ガラスくず、金属くず、廃プラの混合物)	がれき	廃アクリル	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	
	(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（R4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具 (ガラスくず、金属くず、廃プラの混合物)	がれき	廃プラスチック	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具 (ガラスくず、金属くず、廃プラの混合物)	がれき	廃プラスチック	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	
	(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ R 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具 (ガラスくず、金属くず、廃プラの混合物)	がれき	廃プラスチック	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で埋立処分または海洋投入処分を行ったことはない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具 (ガラスくず、金属くず、廃プラの混合物)	がれき	廃プラスチック	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	
	(今後実施する予定の取組) 引続き埋立処分又は海洋処分する予定はない。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ R 4 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具 (ガラスくず、金属くず、廃プラの混合物)	がれき	廃アルカリ
	全処理委託量	4.2t	0.0t	11.4t
	優良認定処理業者への 処理委託量	4.2t	0.0t	11.4t
	再生利用業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t
	(これまでに実施した取組) ・優良認定業者への委託。			

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具 (ガラスくず、金属くず、 廃プラの混合物)	がれき	廃アルカリ	
	全処理委託量	5.0t	5.0t	11.0t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	5.0t	5.0t	11.0t	
	再生利用業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	
	認定熱回収業者への処 理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	
	(今後実施する予定の取組)				
・現在行っている取り組みの継続。					